

茨木スクールカウンセラー研究会 日記

第 52 回 2016 年 1 月 療育施設における心理士のあり方 の巻

療育施設の中で、一人心理士で、たくさんの仕事を抱え、悪戦苦闘して頑張っている様子を身にしみて感じられる発表でした。

他職種が多く占める仕事場の中で、心理士である自分の立ち位置を考えながら、保ちながらやっていくことは、とても難しいことだと思いますが、発表者の方が「とりあえずやってみる」をするというところに励まされ、私も頑張っていこうと思いました。

記録： 山内（臨床心理士）

日 時： 2016 年 1 月 9 日(土) 10:00～12:00
場 所： 茨木市民総合センター（クリエイトセンター）2F
参加者： 9名（大阪府 SC、兵庫県 SC、奈良県 SC、教育分野 CP(滋賀県)、
医療分野 CP(大阪府)、福祉分野 CP(滋賀県)）

内 容：

前半：参加者から話題提供

テーマ：療育施設における心理士のあり方について

後半：心理アセスメントの練習

事 例：強迫症状のある小学 6 年女児の事例

次回開催予定：2016 年 2 月 6 日(土) 14:30～16:30
茨木市民総合センター（クリエイトセンター）

テ ィ マ：子どもにやさしいまちであるために…